

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年2月26日 (2009.2.26)

【公開番号】特開2007-197627(P2007-197627A)

【公開日】平成19年8月9日 (2007.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2007-030

【出願番号】特願2006-20431(P2006-20431)

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/68 (2006.01)

H 0 1 L 23/29 (2006.01)

H 0 1 L 23/31 (2006.01)

H 0 1 L 33/00 (2006.01)

H 0 1 L 31/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 59/68

H 0 1 L 23/30 F

H 0 1 L 33/00 N

H 0 1 L 31/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月14日 (2009.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

前記 (C) のチオールが $C_nH_{2n+1}SH$, $n=9-15$ であることを特徴とする請求項 1 に記載の光半導体封止用透明エポキシ樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

ここで、前記 (C) のチオールが $C_nH_{2n+1}SH$, $n=9-15$ であることが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

また、上記 A 成分および B 成分とともに用いられる C 成分であるチオールを含有する化合物としては、具体的には 1 - ノナンチオール、1 - デカンチオール、1 - ドデカンチオール、1 - ペンタデカンチオールといった炭素数 9 ~ 15 の $C_nH_{2n+1}SH$, $n=9-15$ を有している化合物が好ましい。また、さらにこれらのチオール系化合物は、エポキシ樹脂組成物内にて、熱分解、加水分解により、チオール系化合物を生成させてもよい。炭素数が 8 以下であると、リードフレームに対する接着力が高くなり、16 以上の炭素数を持つと、成型性の不具合、Tg の低下が著しくなる。